

シグマ光機(7713) 19/5 期決算メモ アウトパフォーム (新規)

20/5 期は先端設備投資先送りで収益横ばいも 21/5 期は半導体、5G、宇宙等で収益拡大へ

株価 1097 円 (8/16) 時価総額 83 億円 (8/16) 発行済株 7552 千株 (8/16)

PER (DO 予 : 9.2X) PBR (0.61X) 配当 (20/5 予) 40 円 配当利回り : 3.65%

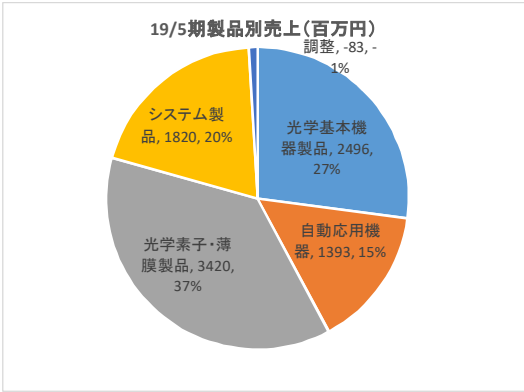
要約

- 1977 年創業の国内最大のレーザー用光学関連部品メーカー
- 19/5 期は 1.0%増収ながら MIX 変化や在庫評価損、人件費増などが影響し 21.6%営業減益
- 20/5 期は先端設備投資先送りから 2.0%増収、0.6%営業増と収益横ばい見通し
- 21/5 期は半導体、5G、宇宙等で収益拡大へ
- 株価は PBR1 倍にあたる 1797 円を目標に新規アウトパフォームとする

1977 年創業の国内最大のレーザー用光学関連部品メーカー

同社はレーザー用光学機器の製造を目的に 森基 (光学・機械設計)、森吟二 (光学研磨)、杉山茂樹 (機械加工) の 3 人が創業者となって、「人の力を合わせ (総和 : シグマ) 光学機器を作る」意味を込めたシグマ光機として 1977 年に設立された。設立当初は理化学研究所向けなどに LiNbO3 や LiTaO3 のような通信用光学結晶, Si や GaP のような半導体結晶の光学研磨、ミラーホルダーなどを納入、その後、光学基本機器と光学素子などをカタログ販売化するなどで業容拡大してきた。

19/5 期の製品別売上構成は、要素部品事業 80% (光学基本機器製品 27%、自動応用機 15%、光学素子・薄膜製品 37%)、システム製品 20%。ニーズの多い約 13000 種の商品は



要素部品



光学素子・薄膜製品 / 約10,000品目
Optics Over 10,000 items



光学基本機器製品 / 約2,000品目
Optical-Mechanics & Manual Positioners Over 2,000 items



自動応用製品 / 約200品目
Motion Control Products Over 200 items

システム製品



干渉計
Interferometer



電源
Power Supplies



オプティカルシステムユニット
Optical System Components



モーションコントロール
Motion Controls



レーザー処理システム
Laser Processing Systems

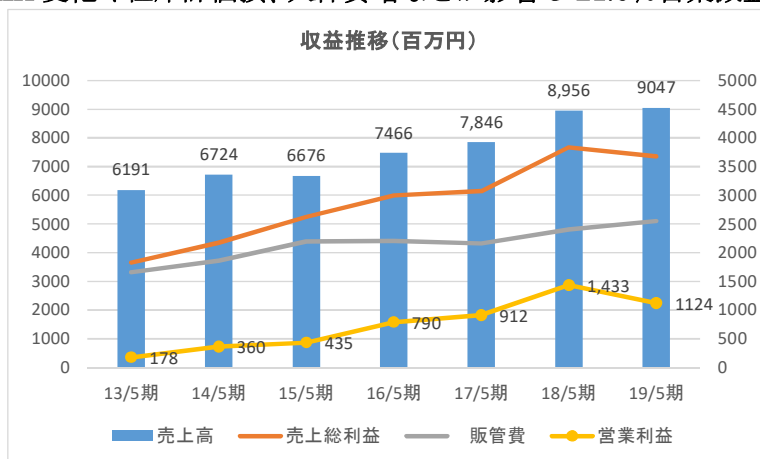


調芯・溶接
Fiber Alignment and Welding System

規格化され、カタログ掲載し売上の 5 割を占め、残りは大学や国の研究機関などからの特注仕様の製品となっている。

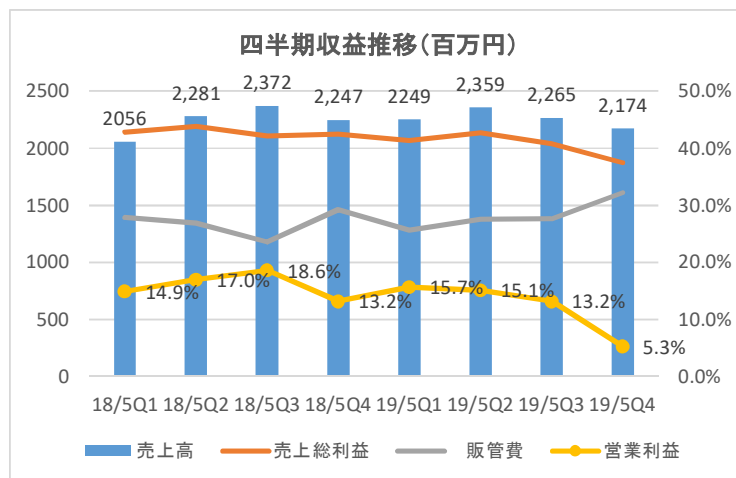
19/5 期は 1.0%増収ながら MIX 変化や在庫評価損、人件費増などが影響し 21.6%営業減益

19/5 期業績は、売上高 90.47 億円 (1.0%増)、営業利益 11.23 億円 (21.6%減)、経常利益 12.46 億円 (17.9%減)、税引利益 8.28 億円 (17.7%減) となり、MIX 変化や在庫評価損等の原価高 (2.31 億円増)、人件費増 (0.84 億円増) などが影響し、2 ケタ減益に。なお四半期推移では Q3、Q4 と設備投資減速の影響を受けて収益の落ち込みが進んでいる。



製品別売上動向では主力の要素部品事業が 3.5%増収、6.8%営業減に。光学基本機器が米

国向け不振で 1.5%減ながら、自動応用機器がバイオ業界向け自動位置決め装置など大口の回復で 18.9%増、光学素子・薄膜製品は 2%増に。利益面では粗利益率は確保できているものの、販管費が人件費増などで高み、営業減となった。システム事業は 6.6%減収、49.9%営業減と、民間企業



の研究開発分野向けが下期に減速、一部の大口案件が期ずれし、利益面では在庫評価減などが響き減益幅が大きくなった。

次に地域別動向では、日本が 64.21 億円 (0.6%増) と研究開発、産業分野とも横這い、北米は産業向けの設備投資鈍化で 9.86 億円 (9.0%減)、アジアオセアニアは産業分野が後半鈍化、FPD、半導体向け減退も 11.33 億円 (5.1%増)、欧州は光学測定器等の伸びで 4.68 億円 (29.2%増) に。

20/5 期は先端設備投資先送りから 2.0%増収、0.6%営業増と収益横ばい見通し

20/5 期会社計画は売上高 92.30 億円 (2.0%増)、営業利益 11.3 億円 (0.6%増)、経常利益 12.55 億円 (0.7%増)、税引利益 8.4 億円 (1.4%増) を見込む。月次受注で既にボトム

を付けているとのことで、上期については市場対策として費用が高むとしており、1.5%減収、26.1%営業減も、下期は増収効果に加え材料費比率などの抑制効果が見込まれ、前期から納入がずれていた防衛庁向けのセンサ関連の増加も期待され、前年同期比 5.7%増収（上期比 3.3%増）、営業は同 46.1%増（上期比 15.2%増）を見込む。

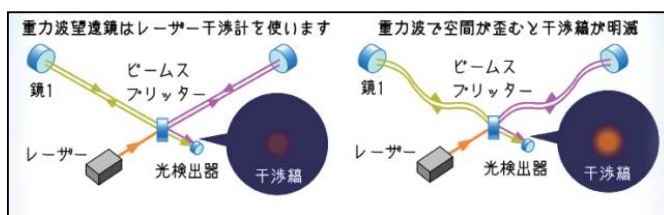
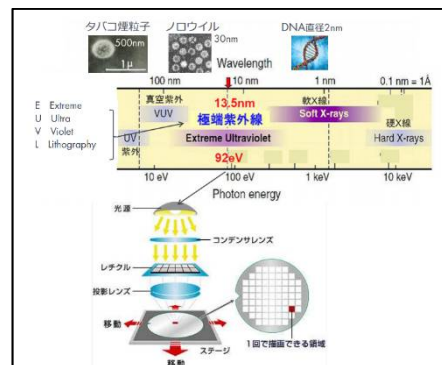
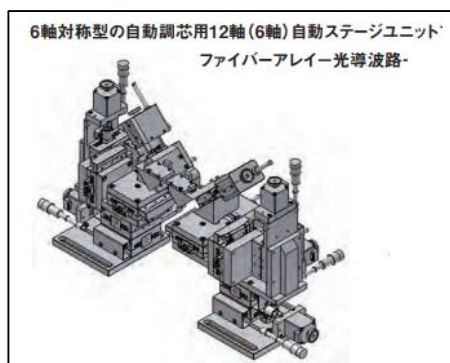
現状、4月受注 5.2 億円、5月受注が 5.3 億円、6月は 7 億円と推移、受注残高も増加しており、今後、5G 向け調芯などにモジュール機器などの増加も期待され、会社計画並みの収益を確保しよう。

21/5 期は先端半導体、5G、宇宙等で収益拡大へ

21/5 期は 5G 設備投資の拡大に伴い、ファイバーや導波路用自動調芯装置の伸びが拡大、半導体もロジックデバイスなどで EUV 微細化の進展などから高精度光学ユニット・光学素子・光学素子ホルダ・自動ステージなど半導体設備用 OEM 製品の受注増が見込める。また車載向けでは各種センサーデバイスの数量増に伴い、光学モジュール・特注光学素子等の拡大が期待される。加えて国家プロジェクト向けでは最近話題となったブラックホールの撮影成功など、重力波をとらえる望遠鏡 KAGRA への超低損失ミラーなどの納入実績から、宇宙関連では NASA/CNES 「Mars2020 計画」において、20 年 7 月打ち上げを予定している米国火星探査機用搭載 SuperCam 検出用光学素子の納入も期待される。このほか、量子コンピュータ向けビームスリッター（マ

クロな世界では生じない量子力学特有の現象である光子の「0」と「1」の 2 つの状態を同時に重ね合わせる、重ね合わせ状態の光子が 2 つある場合、どちらか一方の値

が観測により決まると、もう一方の光子の値が決まってしまう関係にある複数の光子のもつれ状態を起こさせるキーデバイス)、さらにはがん治療向け放射線治療装置向けレーザービームエキスパンダや自動回転ステージなどの納入も期待される。また埼玉日高工場 E 棟、石川能登工場設備増強などの生産増強効果が本格寄与する見通しで、全体として高付加価値製品で 2 ケタ増



NASA/CNES 「Mars2020 計画」

©A.Maestas,NANL

**火星探査機搭載予定の
SuperCam検出器用光学素子**

収が見込め、増益幅も拡大が見込める。

同社は光学装置に必要な部品やユニットが生産できる総合メーカーとして成長、レーザー発振器は製造していないものの国内ではレーザー関連機器でレンズやミラーではトップ企業とみられる。世界でのレンズやミラーでの競合は、米Newport、米Thorlabs、米Edmund Opticsなどが上位企業としてあるが、同社は中期スローガンとして「日本品質」で精度の高い光学製品をアジア No1 から世界 No1 に、また「光ソリューション」によってお客様の欲しいものを形にし、新たな世界品質を紡ぎだして提供することを事業ミッションしている。まさに世界の先端産業を支える企業としての今後の展開が期待される。

株価はPBR1倍にあたる1797円を目標に新規アウトパフォーマンスとする

株価は4/8の19/5期Q3決算発表時の減額修正を受け、年初来高値1554円をピークに、4/11のブラックホール撮影成功の話題で一瞬反発したものの、その後下落を続け、7/8の19/5期決算発表で20/5期収益横ばい予想が示され、さらに下落を続け8/15には年初来安値1080円をつけた。現状、20/5期会社予想EPS118.6円に対し、PER9.2倍と、東証2部精密業界PER10.9倍を若干下回る水準にあるが、自己資本比率が80%超と財務の安定性などから考えて、割安感がある。しかも5Gや先端半導体関連銘柄であり、今後、宇宙産業や先端医療機器分野などの話題も高まり、21/5期は能力増強と新製品群の拡大で収益拡大が見込めることから、PBR1.0倍にあたる1797円を目標に新規アウトパフォーマンスとしたい。

シグマ光機(7713)	(百万円、円)									
	売上高	増減率	営業利益	増減率	経常利益	増減率	税引利益	増減率	EPS	配当
18/5期	8,956	14.1%	1,433	57.1%	1,518	46.5%	1,006	34.9%	138.5	34.00
19/5Q1	2,249	9.4%	353	14.8%	402	18.2%	265	15.8%	37.4	0.00
19/5Q2	2,359	3.4%	357	-8.0%	395	-6.0%	266	-5.7%	46.4	20.00
19/5Q3	2,265	-4.5%	299	-32.2%	321	-29.8%	204	-32.9%	28.6	0.00
19/5Q4	2,174	-3.2%	115	-61.3%	128	-57.5%	93	-51.3%	13.2	20.00
19/5H1	4,608	6.2%	710	2.2%	797	4.9%	531	3.9%	75.1	20.00
19/5H2	4,439	-3.9%	414	-43.9%	449	-40.8%	297	-40.0%	41.9	20.00
19/5期期初会予	9,360	4.5%	1,620	13.0%	1,695	11.6%	1,105	9.9%	156.0	40.00
19/5期修正会予(4/8)	9,090	1.5%	1,160	-19.1%	1,285	-15.4%	835	-17.0%	117.9	40.00
19/5期	9,047	1.0%	1,124	-21.6%	1,246	-17.9%	828	-17.7%	116.9	40.00
20/5H1会予	4,540	-1.5%	525	-26.1%	580	-27.3%	365	-31.3%	51.5	20.00
20/5H2会予	4,690	5.7%	605	46.1%	675	50.3%	475	59.9%	67.1	20.00
20/5期会予	9,230	2.0%	1,130	0.6%	1,255	0.7%	840	1.4%	118.6	40.00
20/5期DO予	9,200	1.7%	1,130	0.6%	1,250	0.3%	840	1.4%	118.6	40.00
21/5期DO予	10,000	8.7%	1,450	28.3%	1,550	24.0%	1,040	23.8%	146.8	44.00

収益	14/5期	15/5期	16/5期	17/5期	18/5期	19/5期	20/5期 会予	20/5期 DO予	21/5期 DO予
売上高	6724	6676	7466	7,846	8,956	9,047	9,230	9,200	10,000
売上原価	4005	4052	4467	4,774	5,122	5,372		5,400	5,700
売上総利益	2165	2624	2999	3,072	3,834	3,675		3,800	4,300
販管費	1858	2189	2209	2,160	2,401	2,551		2,670	2,850
営業利益	360	435	790	912	1,433	1,124	1,130	1,130	1,450
経常利益	489	555	875	1,036	1,518	1,246	1,255	1,250	1,550
親株主帰属純利益	294	327	596	746	1,006	828	840	840	1,040
セグメント売上情報	14/5期	15/5期	16/5期	17/5期	18/5期	19/5期	20/5期 会予	20/5期 DO予	21/5期 DO予
要素部品	5,699	5,698	6,323	6,599	7,061	7,310		7,400	8,060
光学基本機器製品	2,046	2,105	2,318	2,340	2,533	2,496		2,550	2,800
自動応用機器	1,220	1,117	1,320	1,389	1,172	1,393		1,400	1,560
光学素子・薄膜製品	2,432	2,476	2,684	2,869	3,355	3,420		3,450	3,700
システム製品	1,032	1,000	1,166	1,271	1,950	1,820		1,880	2,020
売上小計	6,730	6,698	7,488	7,870	9,011	9,130		9,280	10,080
調整	-6	-22	-23	-24	-54	-83		-80	-80
売上合計	6,724	6,676	7,466	7,846	8,956	9,047	9,230	9,200	10,000
セグメント営業利益	14/5期	15/5期	16/5期	17/5期	18/5期	19/5期	20/5期 会予	20/5期 DO予	21/5期 DO予
要素部品	911	991	1,182	1,361	1,595	1,487		1,500	1,820
システム製品	-129	-134	51	23	371	186		200	220
営利小計	782	857	1,233	1,384	1,966	1,673		1,700	2,040
調整額	-421	-421	-443	-472	-533	-550		-570	-590
営業利益	360	435	790	912	1,433	1,124	1,130	1,130	1,450
セグメント売上年度構成比	14/5期	15/5期	16/5期	17/5期	18/5期	19/5期	20/5期 会予	20/5期 DO予	21/5期 DO予
要素部品	84.7%	85.1%	84.4%	83.9%	78.4%	80.1%	80.1%	79.7%	80.0%
光学基本機器製品	30.4%	31.4%	31.0%	29.7%	28.1%	27.3%	27.3%	27.5%	27.8%
自動応用機器	18.1%	16.7%	17.6%	17.6%	13.0%	15.3%	15.3%	15.1%	15.5%
光学素子・薄膜製品	36.1%	37.0%	35.8%	36.5%	37.2%	37.5%	37.5%	37.2%	36.7%
システム製品	15.3%	14.9%	15.6%	16.1%	21.6%	19.9%	19.9%	20.3%	20.0%
売上小計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	#DIV/0!	100.0%	100.0%
セグメント営業利益率	14/5期	15/5期	16/5期	17/5期	18/5期	19/5期	20/5期 会予	20/5期 DO予	21/5期 DO予
要素部品	16.0%	17.4%	18.7%	20.6%	22.6%	20.3%		20.3%	22.6%
システム製品	-12.5%	-13.4%	4.4%	1.8%	19.0%	10.2%		10.6%	10.9%
営業利益	5.4%	6.5%	10.6%	11.6%	16.0%	12.4%	12.2%	12.3%	14.5%

